

環境共生住宅 について

長野県長野工業高等学校 建築学科

平林 蓮珠 渡邊 恭

テーマ設定の理由

SDGs に関して調べていたら建築に関連した課題があったためこのテーマにしました。



環境性住宅の定義

環境共生住宅とは、地球環境を保全するという観点から、エネルギー・資源・廃棄物などの面で十分な配慮がなされ、また周辺の自然環境と親密に美しく調和し、住み手が主体的にかかわりながら、健康で快適に生活できるように工夫された住宅、及びその地球環境のこと。

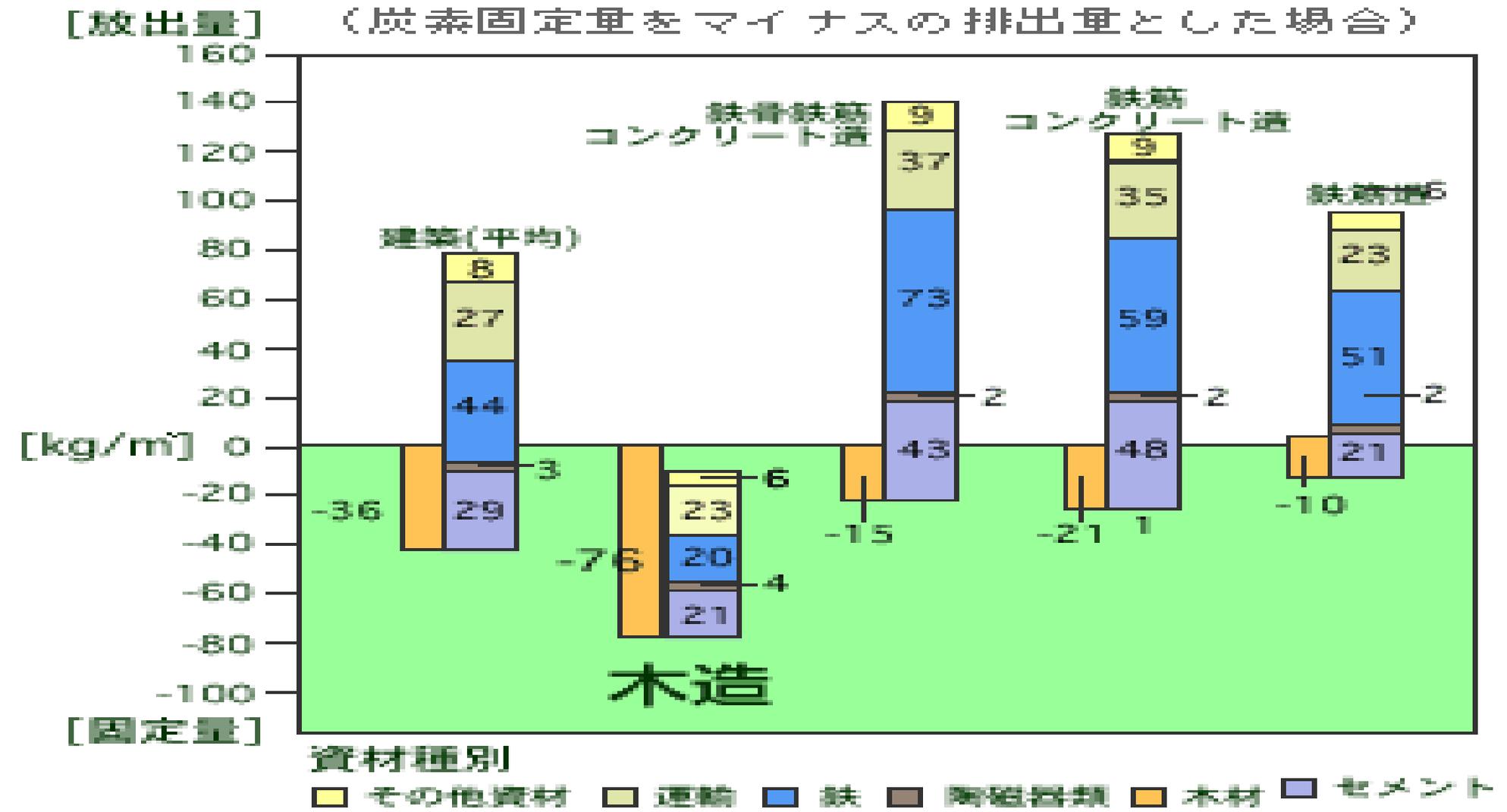
環境共生住宅の現状

経済及び住環境の飛躍的な改善をもたらしている。しかし、建築・使用・廃棄の過程で大量に消費されるエネルギーや資源、二酸化炭素等の排出による地球温暖化等、今では看過しえない環境問題の一因となっている。

木造住宅は炭素固定量が多く、放出量が少ない。

図1

床面積 1m²当りの炭素放出量（建設時）
（炭素固定量をマイナスの排出量とした場合）



資料：建築学会「地球環境建築特別委員会報告書」

環境共生住宅の問題点

住宅が量的・質的に急速に発展した。

しかし、「住宅の規模」「住み手」「地域性」に応じた性能、耐久性、健康、快適性やコスト街の景観、生態的な調和等で、改善すべき問題点が多い。

環境共生住宅の今後の課題

- ①環境共生住宅が普及していないので
広めることから始める。
- ②多くの問題点を三つのまとめり（地球環境の
保全・周辺環境との親和性・移住環境の健康
快適性）で考え、それら三つのまとめりが調和
していくことで環境共生住宅の課題につながる。

図2



SDGs実現に向けて～10代からの提言～

持続可能な社会実現のためにより多くの人に環境共生住宅を知ってもらおう。

建物を建てる際は、環境共生住宅を意識して家を作ってほしい。

感想

今回SDGs に関して調べたことで世界の現状や多くの課題を知ることができて良い機会になりました。今後は、私たちが日頃からSDGs を意識して、生活したいです。